

バイク用ドライブレコーダー

BDR-1

取扱説明書

12V、24V車対応



このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、SDカード内の映像データを直接見ることができない仕様のため、セキュリティに優れた製品になっています。

保証書 (持込修理)	
本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	
品番 BDR-1	SNo.
お買い上げ年月日	年 月 日
保証期間	お買い上げの日より1年 (電池などの消耗部品は除く)
お客様	〒 () TEL ()
販売店	お買い上げの販売店 お買い上げの日付
故障内容記入欄	

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意事項に促った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- この保証書が添付して保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、暴風、その他の天災地変、公害、墜落、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 特定の条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 原因の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字が書き落とされた場合
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のご注意	7
同梱品の確認	9
各部の名称と働き	10
SD カード・リチウムイオン電池の装着 / 取り外し	11
電源ボタンについて	12
記録ファイルについて	13

設置と準備

取り付けかた	16
電源について	17
専用ビューアソフトの準備	19
動作テスト	22

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトの使いかた	28
----------------	----

その他

故障かな?と思ったら	53
仕様	54
録画時間について	55
エラー音について	56
アフターサービスについて	57
保証書	裏表紙

・本機には、お買い上げの日から1年間の製品保証がついています。ただし、SDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
 ・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

- この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
- この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
- この記号は、関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

- 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。
- 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所

注意

- 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。
- 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

❌ 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。

❌ 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いはご注意ください。

❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

❌ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

⚠️ 本機は精密機械です。静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

警告

ⓘ 手動記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

❌ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

注意

ⓘ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などでふくとキズの原因となります。

警告

ⓘ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、車両の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

注意

ⓘ 取り付けは確実に行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

ⓘ 突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。

❌ 運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し操作してください。

❌ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

ⓘ 走行中は運転者による操作、ランプの注視をしないでください。このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

● 防水機能について

警告

❌ 本製品は防水設計になっていますが、洗車時には本製品を外して洗車してください。

● SDカードについて

警告

⚠️ SDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。

⚠️ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

⚠️ SDカードおよびその他の同梱品は、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠️ 電源がONの状態でのSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後ランプが3秒以上消灯したことを確認し、SDカードの抜き差しを行ってください。

● リチウムイオン電池について

危険

❌ リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないでください。リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

❌ リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❌ リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（80℃以上）で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

❌ リチウムイオン電池を水や海水などに浸けたり、濡らさないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

❌ 火のそばや炎天下などでの充電や放置はしないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❌ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❌ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。

❌ リチウムイオン電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

❌ リチウムイオン電池の端子部を針金などの金属で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。リチウムイオン電池がショート状態となり、過大な電流が流れ、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火あるいは針金やネックレスやヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。

❌ リチウムイオン電池に直接ハンダ付けしないでください。熱により、絶縁物が溶けて、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

❌ リチウムイオン電池を落としたりまたはその他の理由で外傷や変形の原因となるリチウムイオン電池は使用しないでください。液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

警告

⚠️ 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

⚠️ リチウムイオン電池が液漏れしたり、異臭がするときは、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

注意

⚠️ リチウムイオン電池の充電温度範囲は、次のとおりです。
充電：0℃～+45℃
リチウムイオン電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

⚠️ リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

⚠️ お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでください。お買い上げの販売店にご持参ください。

⚠️ リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。

❌ 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。

❌ 濡れた手でリチウムイオン電池をさわらないでください。感電の原因となることがあります。

❌ 通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

❌ 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。液漏れ、発熱、発煙の原因になる恐れがあります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

● 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。
● 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしません。

録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に録画ランプ等を注視したり、操作しないでください。イベント記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画データが書ききれないよに必ず SD カードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
※本体に静電気や電氣ノイズが加わった場合。
※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
※長期間使用しなかった場合。

SD カードに関する注意

- ・ SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・ SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・ SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2 週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・ SD カードは消耗品ですので、定期的な新品へのお交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーにより使用できない場合があります。
- ・ SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- ・ SD カードは必ず同梱品が別売品を使用してください。市販品の SD カードを使用すると、正常に録画できない場合があります。

使用上のご注意

■ 取り付けに関する注意

- ・リチウムイオン電池には寿命があります。
- ・充電しても使用時間が短くなった場合は、販売店に充電式リチウムイオン電池の交換をご依頼ください。
- ・安全のため、高温時や低温時は充電ができません。充電可能な温度範囲は、0～+45℃になります。
- ・不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
<http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>



■ 使用前の注意

- ①19 ページを参照し、専用ビューソフトをパソコンにインストールして起動してください。
- ②専用ビューソフトのファイルメニュー【ツール】→【記録設定】から各種の設定を確認し、[OK] をクリックしてください。



■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起す可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くに使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

■ GPS 測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPS の電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ レンズカバーについて

- ・本機前面のレンズカバーは、虫や砂の衝突や、紫外線により、レンズカバーが傷つき、曇ったり、黄変する可能性があります。ご了承ください。

■ 防水機能について

- ・内部に水などの液体をかけたたり、ぬらしたりしないでください。故障の原因になります。本機を水のかかる所で使用する場合は、レンズカバー/リヤカバーロックねじを確実に閉めてください。

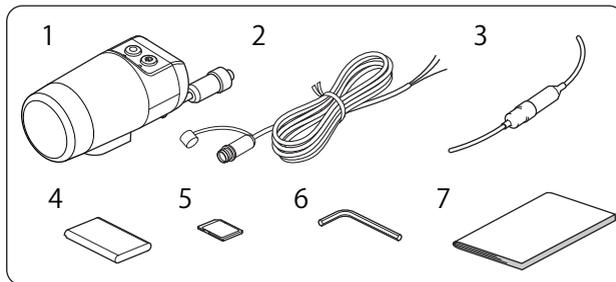
■ 撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

同梱品の確認

同梱品の確認をしてください

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。



番号	名称	説明
1	本機	BDR-1 本機です。
2	電源ケーブル(約 2m)	車両に接続し、本機に電源を供給します。
3	ヒューズケーブル	車両と接続するときに使用します。
4	リチウムイオン電池	延長録画時や電池のみでの動作時に使用します。
5	専用 8GB SD カード	本機専用の SD カードです。
6	六角レンチ (2.5mm)	リヤカバーロックねじを開けるときに使用します。
7	取扱説明書・保証書 (本書)	裏表紙が保証書になっています。お買い上げいただいた販売店の店名・住所が記載されていることをご確認ください。記載されていない場合は、販売店に確認ください。

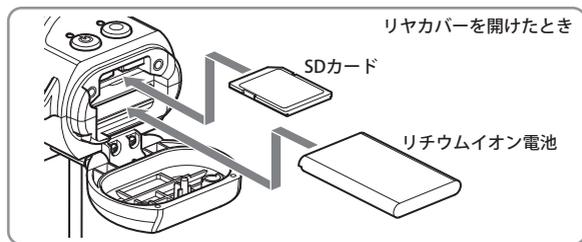
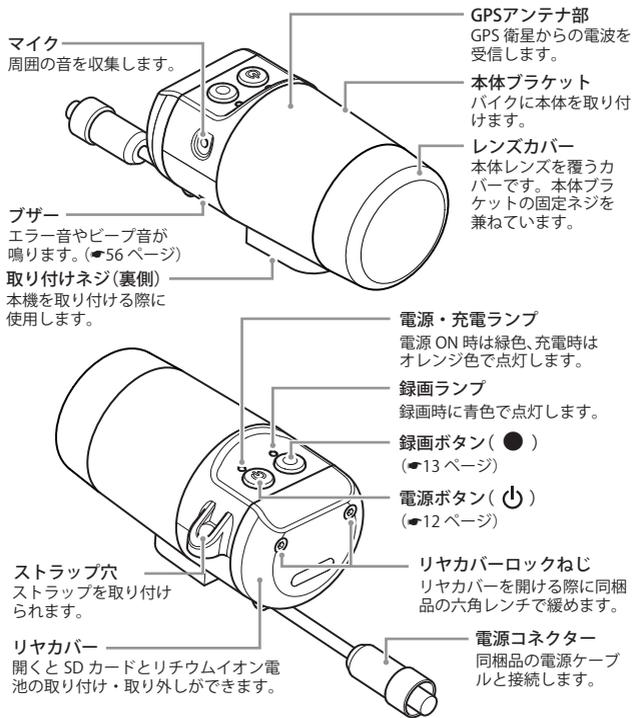
※ 同梱品の追加購入につきましては、54 ページをご覧ください。

別売品のご案内

- ・ 本機専用 32GB SD カード OP-SD32 本体 10,000 円 + 税
- ・ 本機専用 16GB SD カード OP-SD16 本体 5,000 円 + 税
- ・ 本機専用 8GB SD カード OP-SD08 本体 3,000 円 + 税

※ 同梱品、または別売品の SD カード以外は使用しないでください。

各部の名称と働き

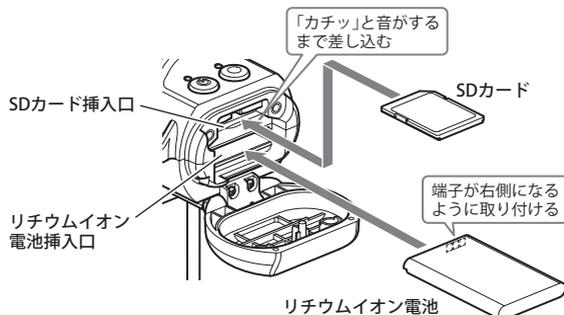


SDカード・リチウムイオン電池の装着/取り外し

△注意

- ・電源をOFFにしてから行ってください。
- ・SDカードは一方方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。

※ 本機と同梱品、弊社別売品以外のSDカードとの相性による動作の不具合については保証し兼ねます。



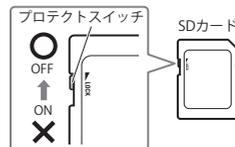
SDカード、またはリチウムイオン電池を装着/取り外すためにリヤカバーを開けた場合は、作業終了後必ずリヤカバーロックねじでしっかりと締めてください。リヤカバーがしっかりと閉じられていない場合は、本機の防水性能が損なわれ、故障の原因となります。また、リヤカバーが完全に閉じていないと録画が開始されません。SDカードがきちんと取り付けられていないと、エラー音が鳴り、録画できません。

※ 本機が水滴等で濡れている場合は、リヤカバーを開ける前に、乾燥した柔らかい布等で十分にふき取ってから開けてください。リヤカバーを開けた時に、リヤカバー内面に水滴が付いた場合は、必ず拭き取ってください。

- ・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・カードエラーが起こった場合は、確実な記録の為に新品に交換をお勧めします。定期的なフォーマットを行い、エラーが出ていない場合でも、おおむね1年を目途に新品に交換してください。

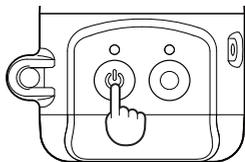
SDプロテクトスイッチについて

SDカードには、プロテクト(書き込み禁止)機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチをOFFにしてください。



電源ボタンについて

本機の電源ボタンは、長押し（約2秒）で本機電源のON/OFFができます。専用ビューアソフトの記録設定で、電源ボタンによる本機電源ON/OFFの有効/無効が設定できます。（▶45ページ）



記録ファイルについて



専用ビューアソフトを使って、記録方法を選択することができます。専用ビューアソフトの設定によっては、常時録画やイベント記録がされない場合があります。よくご確認のうえ、ご使用ください。

録画ボタンでの動作について

●録画方法と録画ボタンを押したときの動作

録画方法	常時録画	イベント記録	常時録画+イベント記録
録画ボタンを押したとき（短押し）の動作	映像ファイル内に、トリガリストとして保存されます。	イベント記録として映像ファイルが保存されます。	常時録画の映像ファイル内にトリガリストとして保存され、さらに別にイベント記録として映像ファイルが保存されます。
録画ボタンを長押し（約2秒）したときの動作	常時録画を録画 / 停止します。	長押し無効。	常時録画を録画 / 停止します。

※それぞれ上書きモード [ON] の場合は、上書きされます。

常時録画

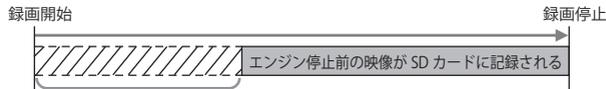
エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像を SD カードに常時録画します。記録したい時間に合わせて、設定を変更してください。（▶45ページ）

※ 録画可能時間については、55 ページをご確認ください。

◆録画開始から録画停止までの時間が短い場合



◆録画開始から録画停止までの時間が長い場合（上書きモード ON 時 ▶47 ページ）



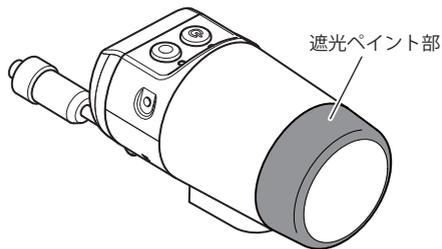
古いデータから順に上書きされ SD カードには残りません。

常時録画設定時は、本機の録画ボタンを押すことで、タイムラインにトリガが黄色でマークされます。

本機レンズカバーについて

本機レンズカバーには、外光による映像障害を防ぐために、遮光ペイントがされています。遮光ペイントが剥がれると、外光により撮影された映像が見づらくなる場合があります。

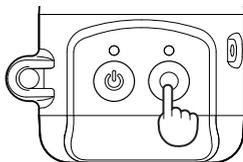
車両操作時などに、車両のカギや荷物などをぶつかけたり、こすったりしないようにご注意ください。また、本機取り付け時や取り外し時には、柔らかい布などで保護し、傷がつかないようにしてください。



イベント記録（録画ボタンを短押しての記録）

イベント記録設定時は、本機の録画ボタンを押すと、イベント記録ファイルが保存されます。上書きモード ON の場合は、古いイベント記録ファイルから上書きされます。録画ボタンを押すと録画ランプ（青）が点灯から点滅になり、本機より『ピー』（約 2 秒間）と音が鳴ります。

常時録画設定時は、本機の録画ボタンを押すことで、タイムラインにトリガが黄色でマークされます。



※ 記録時の音は設定で OFF にすることができます。（←48 ページ）

録画ボタンを押す
例：イベント記録時の録画時間
前 10 秒 / 後 10 秒の場合



上書きモード ON の場合は、イベント記録ファイル保存領域を超えた場合、古いファイルから上書きされます。



⚠注意

❗ イベント記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

記録ファイル設定について

専用ビューアソフトの基本的な記録ファイル設定は、以下のように設定が可能です。さらに詳細な設定は 45 ページをご確認ください。

●画質設定 ★：初期値

64K、★32K (640×480)
16K、4K (320×240)

※画質設定により、常時録画時、イベント記録時の画面サイズが設定されます。

●録画コマ数

常時録画	★ 30 コマ / 秒	2 コマ / 分	イベント記録	★ 30 コマ / 秒
	15 コマ / 秒	1 コマ / 分		15 コマ / 秒
	10 コマ / 秒	12 コマ / 時		10 コマ / 秒
	5 コマ / 秒	6 コマ / 時		5 コマ / 秒
	1 コマ / 秒			1 コマ / 秒

※時間ごとに録画される映像のコマ数

●イベント記録時間

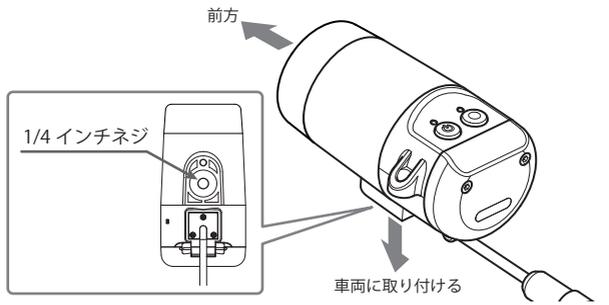
★ 前 10 秒 / 後 10 秒
前 12 秒 / 後 8 秒
前 15 秒 / 後 5 秒
前 18 秒 / 後 12 秒
前 20 秒 / 後 10 秒

※録画ボタンを押したときに、イベント記録される映像の時間

本機取り付け

1. 本機底部のネジを利用し取り付けます

レンズ部が車両前方を向くように取り付けてください。

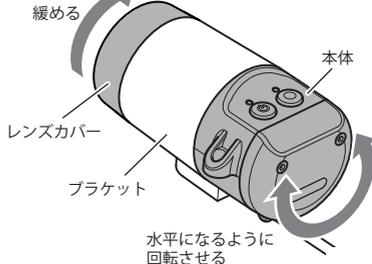


2. 取り付け角度を調整します

レンズカバーを緩め、本体を回転させ、本体が水平になるように調整します

※本機が水滴等で濡れている場合は、レンズカバーを緩める前に、乾燥した柔らかい布等で十分にふき取ってから緩めてください。

※レンズカバーに傷がつかない様に注意して行ってください。



3. レンズカバーを締める

走行中に緩まない様にしっかりと締めつけます。

※レンズカバーとブラケット / ブラケットと本体の間の隙間が無くなるまで、しっかりと締め付けて下さい。締め付けが不十分な場合、防水性能が損なわれたり、本機の落下の原因となります。

※本体のストラップ穴を使って、市販品のストラップ等で落下防止の対策をしてください。本体落下による損害に対しては、一切の責任を負いません。

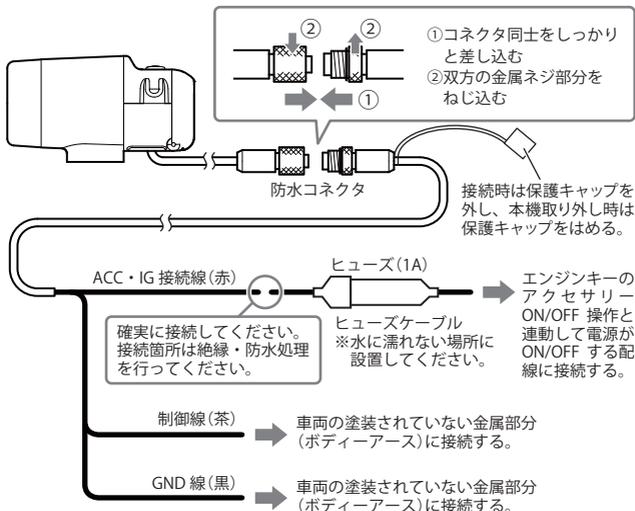
車両との接続

同梱品の電源ケーブル・ヒューズケーブルを接続する。

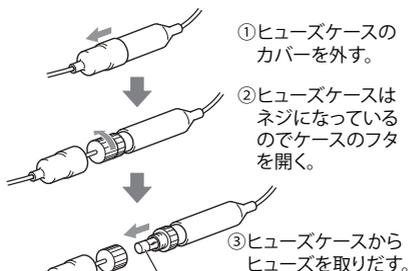
接続作業の前に…

作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。

- 必ず各配線が終わってから、防水コネクタを接続してください。
- 下図のようにそれぞれ正しく接続してください。
- ACC (赤) は、必ずエンジンキーのアクセサリ ON/OFF 操作と連動して電源が ON/OFF する配線に接続してください。
- ヒューズケーブルは ACC 線 (赤) と確実に接続し、接続箇所は絶縁・防水処理を行ってください。また、水に濡れない場所に設置してください。
- 制御線 (茶) と GND 線 (黒) は、車両の塗装されていない金属部分 (ボディアース) に接続します。
- 走行中の振動などで配線が外れないようにしっかりと接続してください。
- エンジンブロックやマフラー、ヘッドランプ等、高温になる場所を避けて配線してください。やむをえない場合は十分な耐熱処理を行って配線してください。



●ヒューズの交換方法

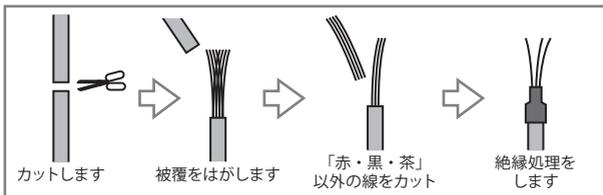
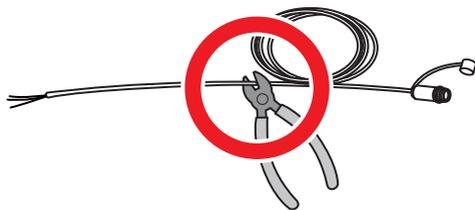


交換用ヒューズ：
管ヒューズ 1A (30mm×6.5mm)

交換時ヒューズを落下させないようにしてください。

●電源ケーブルが長い場合は…

車両に合わせて切断することができます。



取り付けが終了したら…

取り付けが終了したら、専用ビューアソフトをインストールして、動作テストを行ってください。

本機で記録した映像は、専用ビューアソフトを使い、パソコンで見ることができます。

インストールの準備

解像度 1024 × 768 ピクセル以上が表示できる Microsoft WindowsXP または Vista、7 を搭載したパソコン。
ご使用の SD カード容量に対応した SD カードリーダーライター。

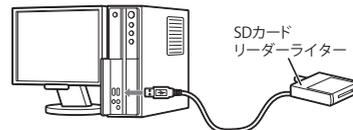
対象 OS

- ・ Windows 7
- ・ Windows Vista
- ・ Windows XP

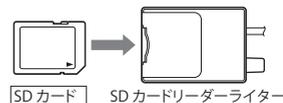
※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

※ 専用ビューアソフトの画面サイズは 1024 × 768 ピクセル固定です。

1. SD カードリーダーライターをパソコンに接続する



2. 同梱品の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



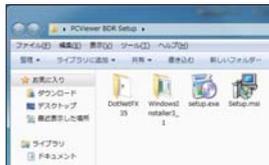
3. エクスプローラなどを起動し、「DRIVEREC1」と表示されているドライブを展開し、「pcsw」フォルダをダブルクリックする



専用ビューアソフトをインストールする

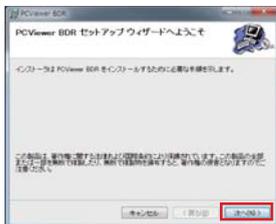
1. [setup.exe] をダブルクリックする

※パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、setup と表示されます。



2. セットアップウィザードの開始

[次へ]をクリックします。



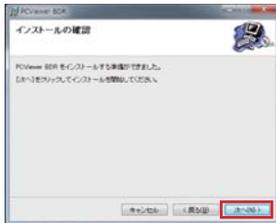
3. インストール先の指定

インストール先のフォルダ画面が表示されますので、インストール先を指定し、[次へ]をクリックします。

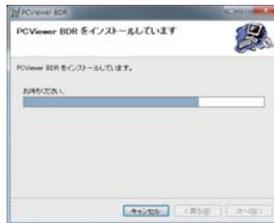


4. インストールの確認

[次へ]をクリックします。



インストール中
しばらくお待ちください。



5. インストール完了

「閉じる」をクリックします。



専用ビューアソフトのバックアップについて

パソコンにソフトがインストールされていれば、専用ビューアソフトでフォーマットする事により、SD カード内にプログラムを生成することが可能です。(「SD カードフォーマット」▶49 ページ)
また、弊社ホームページ内でダウンロードすることも可能です。

弊社ホームページ <http://www.yupiteru.co.jp>

本機はSDカードの設定を読み込み、動作します。
ご使用になる前に、必ず下記の手順で動作テストを行ってください。
テストを行わない場合、正常に動作しないことがあります。

専用ビューアソフトでの準備

1. デスクトップにある[PCViewer BDR]アイコンをダブルクリックする

専用ビューアソフトが起動します。



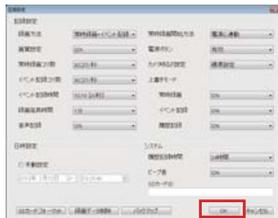
2. 専用ビューアソフトのファイルメニューの[ツール]→[記録設定]を選択する

データフォルダのドライブを要求されるので、SDカードのドライブを選択します。



3. 記録設定の確認

変更しなければ[OK]をクリックします。

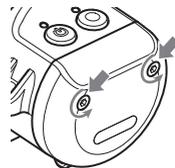


4. パソコンからSDカードを取り出す

本機の準備

1. 本機のリヤカバーを同梱品の六角レンチで開ける

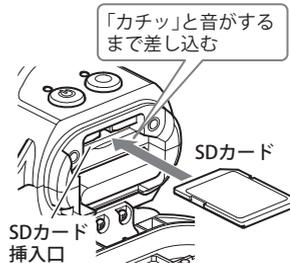
リヤカバーロックねじは、リヤカバーから外れないつくりになっています。



2. 記録設定済みのSDカードを挿入する

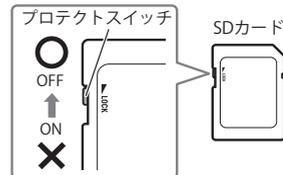
本機の電源がOFFになっていること(ランプがすべて消灯)を確認して、設定済みのSDカードを挿入してください。

- ※ 同梱品のSDカード、または別売品のSDカード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。
- ※ SDカードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、SDカードや本機の故障の原因となります。



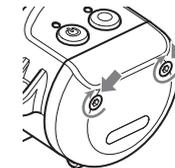
SDプロテクトスイッチについて

SDカードには、プロテクト(書き込み禁止)機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチをOFFにしてください。



3. 本機のリヤカバーを同梱品の六角レンチで閉じる

リヤカバーロックねじをしっかりと締めてください。本機はリヤカバーが開いたままでは動作しません。



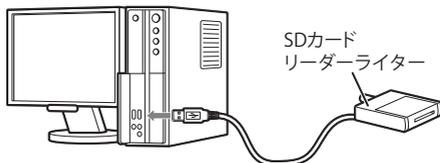
テスト映像を記録したら…

専用ビューアソフトがインストールされているパソコンで映像の確認を行います。

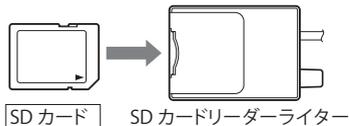
テスト記録の確認

※ 本ソフトは、本機専用のビューアソフトです。
本機以外の機種で記録した映像は読み込むことができません。

1. SD カードリーダーライターをパソコンに接続する



2. 同梱品の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



3. デスクトップにある [PCViewer BDR] アイコンをダブルクリックする

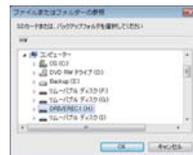
専用ビューアソフトが起動します。



4. [フォルダ] をクリックする



5. 「DRIVEREC1」と表示されているドライブを指定し、[OK] をクリックする



6. 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイル No. に が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できません。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに が表示されます。



7. [読み込み] をクリックする

- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。

※ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。



テスト記録を確認したら…

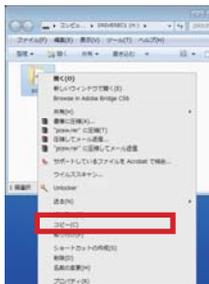
テスト記録に問題が無ければ、[記録設定] (👁️ 45 ページ) をお好みの設定に変更して、SD カードを本機に戻してご使用を開始してください。問題がある場合は、取り付けや設定を確認して再度動作テストを実行してください。

専用ビューアソフトのバックアップ (コピー) について

専用ビューアソフトは同梱品の SD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ (コピー) することをおすすめします。

例：デスクトップにバックアップ (コピー) する場合

1. エクスプローラなどを起動させ、「DRIVERREC1」と表示されているドライブを展開し、「pcsw」フォルダ上で右クリックし、「コピー」を選択する



2. デスクトップ上で右クリックし、「貼り付け」を選択する

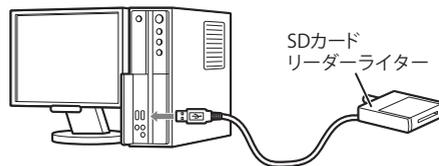


3. 保存の完了

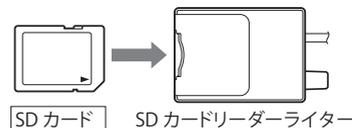
デスクトップに [pcsw] フォルダがコピーされます。

記録データの準備

1. SD カードリーダーライターを専用ビューアソフトがインストールされているパソコンに接続する



2. 同梱品の SD メモリーカードを SD カードリーダーライターに接続する



3. デスクトップにある [PC Viewer BDR] アイコンをダブルクリックする

専用ビューアソフトが起動します。



4. (フォルダ)をクリックする



5. 「DRIVEREC1」と表示されているドライブを指定し、[OK]をクリックする

- ・ [ファイル] をクリックし [データフォルダを指定] から、[DRIVEREC1] を選択しても同じ画面表示になります。



記録された映像を見る (イベント記録)

1. イベント記録タブをクリックする



2. 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイル No. に が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できません。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに が表示されます。



3. [読み込み] をクリックする

- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
 - ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像 (一番古い映像ファイル) が表示されます。
 - ・ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [イベント記録] をクリックしても同じ画面表示になります。
- ※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



No	表示名	表示の意味
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		静止画に変換します。
		印刷をします。
		動画変換します。
		データのバックアップをします。
		ログデータに変換します。
		記録設定の変更をします。
②	表示エリア	選択したファイルの映像を表示します。
③	音量 / 表示切替ボタン	音量を調節します。/ シングル画面、16 分割画面に切り替えます。
④	走行速度表示	GPSで記録した走行速度を表示します。
⑤	加速度表示	記録されている衝撃(加速度)の値を、前後(X 方向 : 赤色)、左右(Y 方向 : 黄緑色)、上下(Z 方向 : 青色)で表示します。
⑥	緯度・経度表示	GPS で記録した緯度(N)・経度(E)を表示します。
⑦	再生ボタン	再生や、早送りなどの操作を行います。
⑧	加速度センサーグラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。
⑨	日付 時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑩	プレイリスト一覧	選択されているファイルを表示します。

4. 再生する

ボタンをクリックすると、記録するきっかけとなった時点から再生を行います。

● 映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



- ・ [再生] をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止] をクリックすると、クリックした動作を行います。
- ・ 記録するきっかけとなる前の映像を確認する場合は、[逆再生] や [早戻し] のボタンをクリックしてください。

● や ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変えることができます。

- ・ を 1 回クリックすると 1 倍速 (通常速度)、2 回クリックすると 0.5 倍速 (スロー) で [再生] または [逆再生] できます。
- ・ を 1 回クリックすると 2 倍速、2 回クリックすると 4 倍速、3 回クリックすると 8 倍速、4 回クリックすると 16 倍速で [早送り] または [早戻し] できます。

● ボタンをクリックするとシングル画面表示、 ボタンをクリックすると 16 分割画面表示に切り替えることができます。

- ・ [表示] をクリックし [画面表示] から [シングルチャンネル] または [シングルチャンネル 16 分割] をクリックしても同様に画面表示を切り替えることができます。



加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度 (縦軸) と時間 (横軸) でグラフ表示します。

● 加速度センサー表示は ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、 ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。

ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

- ・ [表示] → [加速度センサースケール] から [拡大] [標準] [縮小 1] [縮小 2] を選択、操作をしても同様の動作となります。
- ・ エリア内をクリックすると、クリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したいところでクリックし、再生ボタンで確認ができます。



記録された映像を見る (常時録画)

1. 常時録画タブをクリックする



2. 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイル No. に が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに が表示されます。



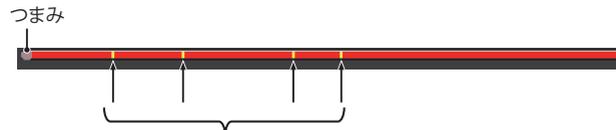
3. [読み込み] をクリックする

- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ・ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [常時録画] をクリックしても同じ画面表示になります。
- ※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



No	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン	常時録画中の録画ボタンを押した位置を表示します。

- つまみをスライドさせ ボタンをクリックすると、その場所から再生できます



常時録画中に、録画ボタン操作をした場所を表示します。

- トリガリスト表示 ボタンをクリックするとイベントのリスト表示に切り替えることができます。



リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。



記録した映像を保存する

SD カード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

バックアップ

SD カードに記録されているファイルをパソコンなどにバックアップできます。

※ バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除 (● 47 ページ) を行ってください。

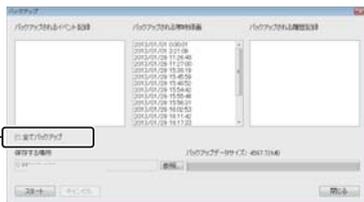
1. ファイル名の一覧より、保存したい映像ファイル名をクリックし、 を入れ、[読み込み] をクリックする

2. (バックアップ) をクリックする

- ・ [ツール] をクリックし [バックアップ] をクリックしても同じ画面表示になります。
- ・ 読み込まれたファイルが表示されます。

全てバックアップ

を入れると SD カードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。



3. 保存先を指定し、[スタート] をクリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

4. 保存が完了すると、「バックアップ完了」と表示される

[OK] をクリックするとバックアップの画面に戻ります。フォルダ内にファイルが作成されます。

5. 終了するときは [閉じる] をクリックする

バックアップしたファイルはデータフォルダの参照よりバックアップしたフォルダを選択すると確認できます。

動画変換

記録されたファイルを AVI 形式 (MJPEG) の動画に変換して保存できます。

動画変換した映像を見る

動画変換して保存したファイルは Microsoft Media Player Ver11.0 以上で再生できます。

1. ファイル名の一覧より、動画変換したい映像ファイル名をクリックし、 を入れ、[読み込み] をクリックする

2. (動画変換) をクリックする

・ [ツール] をクリックし、[動画変換] をクリックしても同じ画面表示になります。

3. お好みのファイル名や保存する場所、範囲、コマ数、画質を指定し、[スタート] をクリックする

「速度」など、各項目に を入れると、保存映像に字幕として各項目の情報を表示します。「音声」に を入れると、音声入りの動画ファイルを保存します。



4. 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

[OK] をクリックすると動画変換の画面に戻ります。指定した保存先に * .avi ファイルが保存されます。

※ * 部には、映像を記録した日時か、指定した名称が入ります。



5. 終了するときは [閉じる] をクリックする

📷 静止画変換

表示エリアに表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、「表示中の静止画すべて」または「コマ数指定」を選択します。

静止画変換した映像を見る

静止画変換し、JPEG 形式で保存した画像は Windows の標準ソフトで見ることができます。

1. ファイル名の一覧より、静止画変換したい映像ファイル名をクリックし、 を入れ、[読み込み] をクリックする

2. 📷 (静止画変換) をクリックする

・ [ツール] をクリックし、[静止画変換] をクリックしても同じ画面表示になります。

3. [表示中の画像すべて]、または[コマ数指定] を選択し、お好みの保存先を指定し、[OK] をクリックする

● 表示中の画像すべて

シングル画面表示で静止画変換を行った場合は 1 枚、16 分割画面表示から静止画変換を行った場合は、表示されている 16 画面の映像すべてを静止画に変換できます。



● コマ数指定 (選択した静止画から)

・ 表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

<秒間>

範囲指定された、表示エリアの映像の長さ (秒) を表示しています。

<コマ / 秒>

1 秒間を何コマで分割するかを設定します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定のコマ数 (👉 46 ページ) が反映されます。

・ 静止画枚数は秒×コマ数になります。

4. 保存が完了すると、「静止画変換しました。」と表示される

[OK] をクリックすると静止画変換の画面に戻ります。



5. 終了するときは[閉じる]をクリックする

記録した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

1. ファイル名の一覧より、印刷したい映像ファイル名をクリックし、 を入れ、[読み込み] をクリックする

2. 🖨️ (印刷) をクリックする

・ [ファイル] をクリックし、[印刷] をクリックしても同じ画面表示になります。

3. [表示中の静止画すべて] または [コマ数指定] を選択する



● 表示中の静止画すべて

表示エリアの映像を印刷します。16 分割画面で表示されているときは、表示されている 16 枚の印刷を行います。

● コマ数指定 (選択した静止画から)

表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定のコマ数 (👉 46 ページ) が反映されます。

・ 印刷枚数は秒×コマ数になります。

4. [OK]をクリックする

印刷画面が表示されます。



● 印刷

印刷枚数を確認できます。
[OK]をクリックすると印刷を行います。



● プリンタ設定

印刷するプリンタの設定を行います。

● 1 コマ表示

1 枚に 1 コマの映像データを表示します。

● 4 コマ表示

1 枚に 4 コマの映像データを表示します。

5. 終了するときには[閉じる]をクリックする

履歴を見る

走行ルートや映像を記録したポイントを確認することができません。本機の電源が入っている間、GPS 測位によって約 1 秒ごとに自転車位置を記憶し、設定した時間分 (● 48 ページ) の履歴 (ログデータ) を SD カードに保存します。

※ GPS 測位できない場合は、自転車位置を記録できません。

※ 合計時間が設定した時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。

※ 履歴 (ログデータ) を作らないようにすることはできません。

1. 履歴記録タブをクリックする



2. ファイル名の一覧より、見たい履歴のファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイル No. に が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できません。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに が表示されます。



3. [読み込み]をクリックする

選択した履歴が読み込まれます。



● 画面表示について



No	表示名	表示の意味
①	検索	速度や加速度の値を設定し、検索することができます。
②	ファイル情報(記録開始時刻、再生画像時刻、緯度、経度、速度)	映像の記録日や緯度・経度などの情報を表示します。

● 検索

履歴の中から設定した値を越える速度や衝撃(加速度)の映像を検索でき、ファイルとして表示します。

速度検索値

加速度しきい値 X

加速度しきい値 Y

加速度しきい値 Z

検 索

No.	日付	時刻
1	2018/02/07	15:31:30
2	2018/02/07	15:31:33
3	2018/02/07	15:39:16
4	2018/02/07	15:39:22
5	2018/02/07	15:52:29
6	2018/02/07	15:52:55

GPS速度しきい値	検索する走行速度を設定します。
前後加速度しきい値(X方向)	検索したい前後方向の値を設定します。
左右加速度しきい値(Y方向)	検索したい左右方向の値を設定します。
上下加速度しきい値(Z方向)	検索したい上下方向の値を設定します。

- を入れ、任意の数字を入力してください。
- 検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

● ファイル情報

読み込まれたファイルの記録開始時刻、表示している画面の時刻、緯度、経度、速度[進行方向]を表示します。

記録開始時刻	: 2013/01/29 18:05:40
時刻	: 2013/01/29 18:10:15
緯度	: 35°00'39.20"N
経度	: 137°10'09.93"E
速度	: 9 Km/h [北]

- 記録開始時刻…本機に内蔵されている時計(日時)履歴や映像ファイル名に本体時計の時間が用いられます。日時設定を手動設定にしている場合(☛ 48 ページ)、手動で設定した時間を表示します。
- 時刻…GPSの電波により取得した日時を表示します。

Google Earth 用のデータに変換する

蓄積された履歴ファイルを KML ファイルに変換できます。変換した KML ファイルを使って GoogleEarth 上で全走行ルートを表示ができます。また記録した映像を静止画に変換して(☛ 38 ページ)GoogleEarth の機能を使って、ルート上に表示・保存できます。

- ※ あらかじめ Google Earth のホームページより Google Earth をダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。
- ※ Google Earth のご使用方法等は、Google Earth のホームページをご確認ください。

1. [履歴]をクリックする

2. 変換したい映像ファイル名をチェックして読み込む

- 選択したファイル No. に が入ります。
- 複数のファイルを選択できます。
- 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに が表示されます。
- [ファイル] をクリックし、[読み込み] から [履歴] を選択しクリックしても同じ画面表示になります。
- [ファイル] → [読み込み] [履歴] を選択しても同様の動作となります。
- 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

3. (ログデータ変換)をクリックする

- [ツール] → [ログデータ変換] を選択しても同様の動作となります。

4. 保存する場所とお好みのファイル名を指定し、ポイント、ルートを設定し、スタートをクリックする

- **ポイント**（ログファイルデータの点による位置を表現します。）

GPS 測位による 1 秒間隔の自転車位置変化をポイントとして Google Earth に表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

- ・ 変換するポイントの密度：（1 ~ 30）

Google Earth に表示させる自転車位置の間隔を秒数（1 ~ 30）で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く（広く）なります。数値を小さくすると自転車位置の細かな変化を見ることができます。

- **ルート**（ログファイルデータの線分図形を表現します）

走行軌跡を線で表示します。

- ・ 幅：（1 ~ 10）

走行軌跡表示の幅を設定します。

- ・ 透明度：（0 ~ 255）

走行軌跡表示の透明度を設定します。0 は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

- ・ 色

走行軌跡表示の色を設定します。

- **Google Earth 起動**

ログファイル保存完了後、Google Earth を自動で起動します。

5. ログファイル保存完了が表示されるので、[OK]をクリックする

Google Earth 起動に を入れると、ログファイル保存完了後、Google Earth が起動し、画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡は Google Earth 上の道路や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

6. [閉じる]をクリックする

ログデータ変換が終了します。



設定を変更する



記録設定



（記録設定）をクリックすると、各種の設定変更や SD カードの初期化や記録データのバックアップ、SD カードからの記録データの削除を行うことができます。

・ [ツール] をクリックし [記録設定] をクリックしても同じ画面表示になります。

設定変更を行う場合は必ず SD カードを SD カードリーダーに接続してご使用ください。設定内容は SD カードに保存されます。SD カードを本機に戻し、本機の電源が入ると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。



① 記録設定

記録形式変更時の注意

すでに SD カードに記録した記録データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合（[常時録画] から [イベント記録] への変更など）は、SD カードに記録されている記録データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。設定を変更する場合は、SD カードに記録している記録データをパソコンなどにバックアップしてください。（● 36 ページ）削除した記録データは、元に戻せませんのでご注意ください。

★初期値

録画方法	
常時録画	エンジン始動中の映像を SD カードに記録します。
イベント記録	録画ボタンを押した場合のみ映像を記録します。
★常時録画+イベント記録	エンジン始動時は常に録画（常時録画）します。それとは別に、録画ボタンを押した場合の映像を保存（イベント記録）します。
画質設定	
64K [Hi] ★32K 16K 4K [Lo]	記録する映像の画質を選択できます。 記録される画面サイズは画質によって違います。 画面サイズ 64K、32K…640×480 16K、4K …320×240
常時録画コマ数	
★30、15、10、5、1 コマ / 秒 2、1 コマ / 分 12、6 コマ / 時	常時録画時、それぞれの時間ごとに記録する映像のコマ数を選択できます。
イベント記録コマ数	
★30、15、10、5、1 コマ / 秒	イベント記録時の 1 秒間に記録する映像のコマ数を選択できます。
イベント記録時間	
★前 10、後 10 [20 秒] 前 12、後 8 [20 秒] 前 15、後 5 [20 秒]※ 前 18、後 12 [30 秒]※ 前 20、後 10 [30 秒]※	イベント記録時間を設定します。 録画ボタンを押す前の時間（秒）と押した後の時間（秒）の組み合わせを選択できます。 ※画質設定で 64K 選択時は選択できません。
音声記録	
★ON / OFF	音声を記録するかどうかを選択します。

常時録画開始方法

★電源に連動 録画ボタンに連動	常時録画を開始する方法を設定できます。 ●常時録画を開始する方法 ・電源に連動（電源 ON で常時録画を開始します） ※電源に連動に設定すると、録画ボタンでの録画 ON/OFF が設定できません。 ・録画ボタンに連動 [イベント記録設定時] 録画ボタンを短押しし…イベント記録 録画ボタンを長押しし…無効 [常時録画設定時] [常時録画+イベント記録設定時] 録画ボタンを短押しし…イベント記録 録画ボタンを長押しし…録画開始 / 停止 ※本機が内部電源により録画している場合、リチウムイオン電池が電池切れになった時点で、録画は中止されます。
--------------------	--

電源ボタン

★有効 無効	本機電源ボタンでの電源 ON / OFF の有効 / 無効が設定できます。 ※電源ボタンを無効に設定すると、本機電源ボタンで電源を ON / OFF することはできません。車両の電源の ON / OFF に合わせて本機電源も ON / OFF されます。
-----------	--

録画延長時間

★なし、1 分、10 分、15 分	電源 OFF 後の延長録画が設定できます。 ※内蔵電池が満充電での最大録画時間は約 1 時間です。
-------------------	--

カメラ明るさ設定

★標準設定 屋内重視設定	録画する環境にあわせて標準設定 / 屋内重視設定が設定できます。
-----------------	----------------------------------

上書きモード

[常時録画] ★ON / OFF [イベント記録] ★ON / OFF [履歴記録] ★ON / OFF	SD カードの空き容量が不足したときの保存方法をそれぞれ選択できます。 ●上書きモードが ON の場合 …SD カードの容量がいっぱいになると古いデータから順に書き換わります。 ●上書きモードが OFF の場合 …容量がいっぱいになると映像は保存されません。
---	---

② 日時設定

GPSの電波により日時を取得し、GPS測位すると自動的に日時の修正が行われます。

● 手動設定

にを入れ、日付と時刻を設定することもできます。

※ 本機の電源が入るとSDカードから読み込み、日時を修正します。

手動設定する場合は、現在時刻ではなく、次に本機の電源を入れる日付や時刻を想定して設定してください。

③ システム

履歴記録時間	
★24時間 168時間 480時間	GPSログ(位置/加速度/時間)を記録する時間を選択します。
ピープ音	
★ON/OFF	イベント記録時の「ピー」音(約2秒間)のON/OFFを設定できます。 OFFにすると、ピープ音が鳴らなくなります。
SDカードID	
★IDなし	SDカードIDと機器IDをログに書き込むことでSDカードと機器の管理に役立つことができます。 IDは半角で24文字まで可能です。 ※機器IDは機器固有のもので変更できません。

④ SDカードフォーマット

一度SDカード内のファイルをすべて消去し、必要なファイルを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SDカードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

※ パソコンのOSによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ビューアソフトで行ってください。

※ 必ずSDHC規格に対応したSDカードリーダーライターやSDHC規格に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。SDHC規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

・ [ツール] をクリックし、[SDカードフォーマット] をクリックしても同じ画面表示になります。

1. [SDカードフォーマット]をクリックする



2. フォーマットの設定をし、[スタート]をクリックする

フォーマット画面が表示されます。

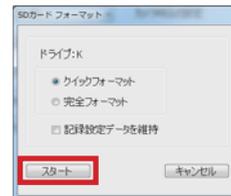
● クイックフォーマット

短時間でフォーマットを行います。

● 完全フォーマット

完全にフォーマットを行います。

※クイックフォーマットよりも時間がかかります。



記録設定データを維持

SDカードの初期化を行っても、記録設定のデータを保持します。

をはずすと工場出荷時の設定内容に戻ります。

※ 記録されたデータは削除されます。

3. [OK] をクリックする

右の確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
中止をする場合は、[キャンセル] をクリックします。



さらに右の確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
中止をする場合は、[キャンセル] をクリックします。



フォーマット中表示



フォーマット中

4. フォーマットが完了したら [OK] をクリックする

右の完了メッセージが表示されます。
[OK] をクリックします。



[OK] をクリックすると記録設定を終了します。

⑤ 録画データ削除

録画データ削除をクリックすると [録画データ削除] と [記録設定データ初期化] が選択画面に表示されます。

● 録画データ削除

SD カード内に記録されたデータを削除します。
いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(● 36 ページ)

1. [録画データ削除] をクリックする



2. 録画データ削除に を入れ、[OK] をクリックする



「録画データをすべて削除しますか?」と表示されます。

[はい] をクリックします。



録画データの削除が完了しました。



[OK] をクリックすると、記録設定画面に戻ります。

● 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

1. 記録設定データ初期化に を入れ、 [OK]をクリックする



記録設定データの初期化が完了すると右記表示になります。



2. [OK]をクリックする

記録設定画面に戻ります。

⑥ バックアップ

SD カードに記録されているファイルをパソコンなどにバックアップできます。

※ 36 ページ「バックアップ」と同じ操作です。36 ページを参照してください。

インフォメーション

● バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

● ホームページ

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

・画面右上の をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

故障かな？

電源が入らない

- 電源ケーブル、ヒューズケーブルが外れていませんか。 ←17
- ヒューズケーブル内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量 (1A) の新しいヒューズと交換してください。

映像が記録できない

- 同梱品の SD カードが正しく挿入されていますか。 ←11
- 記録設定の上書きモードが OFF の場合は、SD カードがいっぱいになると映像が保存されません。上書きモードを ON にするか、必要に応じてバックアップを行ってから、録画データを削除してください。 ←47
- SD カードをフォーマットして確認してください。 ←49
※必要に応じてバックアップを行ってからフォーマットしてください。
- SD カードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。

記録した映像が映らない

- 専用ビューアソフトがインストールされていますか。 ←20

本機から『ピー』(連続音)と警告音が鳴る

- 同梱品の SD カードが正しく挿入されていますか。 ←11
- 同梱品の SD カードが正しく挿入されていないときなどは、正常に起動できません。車両のエンジンキーを OFF にして、同梱品の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。

記録した音声が小さい

- マイクを塞いでいませんか。 ←10

専用ビューアソフトで速度が表示されない

- GPS が測位されていないと速度が表示されません。

電池異常になる

- 電池が正しく取り付けられているか、端子の向きは正しく取り付けられているか確認してください。 ←11

定格電圧	DC12V / 24V
消費電力	4W(平均消費電力)
カメラ素子	カラー CMOS
視野角	対角 160° (左右 120°、上下 86.6°)
画像画質・画像サイズ	4K(320×240)、16K(320×240)、32K(640×480)、64K(640×480)
最低被写体照度	1 LUX (1ルクス)
記録媒体	SDHC カード
記録形式	MJPEG
フレームレート	30,15,10,5,1 コマ/秒、2,1 コマ/分、12,6 コマ/時
防水の種類	IP57 相当
外形寸法	109(W)×56(直径)mm(突起部含まず)
重量	約 260g(SD カード・内蔵リチウムイオン電池含む)
動作温度範囲	-10～+60℃
GPS受信方式	16チャンネル/パラレル受信方式
GPS受信周波数	1.6GHz 帯

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

同梱品の追加購入について

本機同梱品を追加購入されるかたは、当社ホームページをご覧ください。

Yupiteru **スペアパーツ ダイレクト**
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

・YUPITERU スペアパーツダイレクトでは、製品の同梱品・補修部品等をお買い求めいただけます。

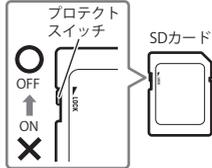
録画時間(イベント記録時)

SD カード容量 8GB								
画質設定	イベント前	イベント後	合計	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
64K	10 秒	10 秒	20 秒	200 件	400 件	600 件	1,200 件	6,000 件
32K				400 件	800 件	1,200 件	2,400 件	12,000 件
16K				800 件	1,600 件	2,400 件	4,800 件	24,000 件
4K				3,200 件	6,400 件	9,600 件	19,600 件	96,000 件
64K	12 秒	8 秒	20 秒	200 件	400 件	600 件	1,200 件	6,000 件
32K				400 件	800 件	1,200 件	2,400 件	12,000 件
16K				800 件	1,600 件	2,400 件	4,800 件	24,000 件
4K				3,200 件	6,400 件	9,600 件	19,600 件	96,000 件
32K	15 秒	5 秒	20 秒	400 件	800 件	1,200 件	2,400 件	12,000 件
16K				800 件	1,600 件	2,400 件	4,800 件	24,000 件
4K				3,200 件	6,400 件	9,600 件	19,600 件	96,000 件
32K				270 件	540 件	810 件	1,620 件	8,100 件
16K	18 秒	12 秒	30 秒	540 件	1,080 件	1,620 件	3,240 件	16,200 件
4K				2,160 件	4,320 件	6,480 件	12,960 件	64,800 件
32K				270 件	540 件	810 件	1,620 件	8,100 件
16K	20 秒	10 秒	30 秒	540 件	1,080 件	1,620 件	3,240 件	16,200 件
4K				2,160 件	4,320 件	6,480 件	12,960 件	64,800 件

録画時間(常時録画の場合)

SD カード容量 8GB					
画質設定	30 コマ/秒	15 コマ/秒	10 コマ/秒	5 コマ/秒	1 コマ/秒
64K	1 時間	2 時間	3 時間	6 時間	30 時間
32K	2 時間	4 時間	6 時間	12 時間	60 時間
16K	4 時間	8 時間	12 時間	24 時間	120 時間
4K	16 時間	32 時間	48 時間	96 時間	480 時間
画質設定	2 コマ/分	1 コマ/分	12 コマ/時	6 コマ/時	
64K	900 時間	1,800 時間	9,000 時間	18,000 時間	
32K	1,800 時間	3,600 時間	18,000 時間	36,000 時間	
16K	3,600 時間	7,200 時間	36,000 時間	72,000 時間	
4K	14,400 時間	28,800 時間	144,000 時間	288,000 時間	

エラー音の種類と対策

エラー音の種類	エラー音の原因	対策
ピー----- (連続音)	SD カードが入っていません	SD カードを入れてください
ピーー ピーー ピーー ...	SD カードエラー	SD カードをフォーマットしてください または、新しいSD カードをお求めください
ピビピビピビピビ...	SD カードが書き込み禁止になっている	SD カードのプロテクトスイッチを解除してください 

エラー音の停止方法は下記の方法があります。

1. 電源ボタンの短押し
2. 録画ボタンの短押し
3. リヤカバーを開く

- 保証書(裏表紙参照)
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
 - 保証期間
お買い上げの日から1年間です。
 - 対象部分機器
本体(消耗部品は除く)
 - 修理をご依頼されるとき
「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
 - 保証期間中のとき
保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。
 - 保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- ※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご確認ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

